

平成 26 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 最優秀賞  
(国土交通大臣賞)

「土砂災害にあわないように」

愛媛県 愛南町立緑小学校 5年 <sup>なかすか</sup> <sup>たいが</sup>  
中須賀 大河

ぼくたち37名の緑小学校は、全員が「防災グリーン隊」の隊員です。「防災グリーン隊」は、地震や大雨による土砂災害等の学習を通して、防災・減災の力を養っています。まず、「まもりみるちゃん」という防災キャラクターを作りました。いろいろな防災グッズを身に付けたとてもかわいいキャラクターで、みんなの人気者です。「まもりみるちゃん」の安全シールも作り、学校内の安全な場所を探してはっています。

さて、今年の夏休みは雨が多く、いろいろなところで大水や土砂による災害が起きました。「平成 26 年 8 月豪雨」というそうです。2学期始業式の校長先生のお話で知りました。中でも広島市では、たくさんの家が土砂に飲み込まれ、70 名以上の犠牲者が出ました。大雨のほか、家が建っている急傾斜地の地盤がくずれやすい土だったことも、大災害の原因だと知りました。

ぼくたちが住んでいる緑地域は、中心部に僧都川が流れる山間部に位置していて、ぼくが気になる傾斜地が多くあります。今、総合的な学習の時間では、防災マップづくりに取り組んでいます。今年は、地震や大雨によって土砂くずれが起こりそうな危険か所を調べてのせることになりました。

先生から見せていただいた資料を調べると、ぼくらの地区にもレッドゾーンが7か所あることが分かりました。そして、その周辺にはイエローゾーンが広がっています。ぼくは、とてもおどろきました。もし、ここに1時間に100ミリ以上の雨が降り続いたら、広島の土砂災害と同じことが起こりかねません。広い範囲を飲み込むような土砂災害が起こると想像するだけで、おそろしくおそろしくふるえてしまいます。だから、緑地域の方々にもちゃんと知っておいてほしいと思います。身を守るための心構えができるからです。

急傾斜地では、これまで全く何も起こっていないところの方がかえって危険な場合があることを聞きました。それは、ずっと耐え続けた地盤が、これまでにない豪雨や大地震でゆるんで、一気にくずれてしまうのだそうです。だからこそぼくは、土砂災害の危険性が予想されているレッドゾーンやイエローゾーンを防災マップにしっかりとのせて、緑地域のみんなに知らせたいと思っています。

最近、温暖化が進み、ゲリラ豪雨が多くなっていることも要注意です。「防災グリーン隊」では、ぼくたち5年生が今年から雨量観測を始めました。(6年生は地震観測を行っています。)運動場のすみに置いている雨量観測計は、雨量がデジタルの数値で表示されるので、とても分かりやすく便利です。ぼくたちは、手作りのペットボトル雨量計でも調べています。これまでに一番多く降った雨は1時間に11.7ミリで、その夜は大雨けい報が出ました。1時間に20ミリ以上、1日に100ミリ以上の雨が降ると土砂災害の危険があるそうです。夏休みには、ペットボトル雨量計を持ち帰り、庭に設置しました。でも、夜寝ている間に雨が降ったり、うっかりして見なかったりして、うまくいかず、とても残念でした。2学期の学校での雨量観測では、しっかりやろうと思います。

日本全国のいろいろなところでしん水や土砂くずれなどの災害を起こしているゲリラ豪雨は、範囲が狭いので、気象観測所もなかなか分かりにくいそうです。だから、ぼくたちは雨量観測をして、いざというときに生かすことができたらいいなと思います。

津波の心配はないと言われている緑地域ですが、大地震や大雨による土砂災害はとても心配です。今年も砂防学習会を行い、家の裏山の土砂災害防止の様子について現地で学習しました。そして、自分の命は自分で守ること、家族やみんなの命も守れる人になることをみんなで確認し合いました。